

# 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

記入日:平成31年3月11日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して基準を満たしています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			定められた人数は配置しています。利用者の特性等を配慮し、利用状況に応じた職員配置を組んでいます。保育士等資格を持った契約(パート)職員の増員を検討します。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		借家のため玄関の上がり口、急勾配の階段はバリアフリー化が難しいため、利用者の移動に際しては、安全面に配慮し職員がつくようになっています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務開始時のミーティング、周1回の職員会議等PDCAサイクルをもとに進め、職員全員が共通理解をし業務に反映するよう努めています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を職員全員で課題を共有し、更に各課題の改善に努めます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			3月中にHPで公開します。更に利用者・保護者様へ周知するため結果を配布します。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者外部評価については法人全体で検討します。
適切な 支援の 提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		常勤・フルパートの職員を中心に業務開始時の打合せ、ケース会議、定期の所内研修の中で、ケース検討や基礎研修を実施しています。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約・更新時の保護者提出アセスメントシートの活用、保護者との面談、利用児の個人記録を基に、6ヶ月毎に個別支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後、標準化されたものの使用を検討します。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事前に職員会議等に計画原案を図り、全員で内容を検討し立案しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムが固定化しないように日々の活動、行事実施後は検討会(反省会)を実施し、その反省をもとにより利用者様に応じたものを提供することができるよう努めています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日はゲームや競争等の集団活動、学校休業日は季節行事や外出行事(社会見学・買い物・食事)等、異なる内容・課題を設定し、支援しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学校休業日の際の終日外出活動以外は、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた活動を計画し、支援しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			平日は午前中、学校休業日は前日又は支援開始前に、支援内容や役割分担の確認をしています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			平日は翌日始業時の職員打合せ中で、学校休業日はなるべく支援終了後に、活動や支援の振り返りを行い、次につなげるように職員間で共有しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			次の支援につなげるように、支援終了後にその日の利用者の記録をとることを徹底しています。また児発管等が定期的に記録内容を確認し、各職員に支援等の助言を行っています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとにモニタリングを実施し、その都度利用者の状況や保護者の意向を反映させた放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			所内・所外活動の中に、基本活動の組み合わせを工夫した支援を行っています。
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、子ども一人一人を客観的に把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	

関係機関や保護者との連携	②①	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	学校お迎え時に子どもの様子をお聞きしたり、事業所での様子お伝えたりしています。お迎えが遅れたりする際は、事前に学校へ連絡するようにしています。今後は、学校見学を行い子どもの状態を把握し、支援に反映できるよう努めていきます。
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	医療的ケアを要するお子さんとの契約はしていません。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	契約前に利用している事業所を訪問し、子どもの行動観察を行っています。今後は、引き継ぎシート等を提供いただいたり様子を伺ったりして支援に役立てていきます。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	障害福祉サービス事業所等へ移行していくケースがある場合は、支援内容等の情報提供を行っていきます。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	各職員が専門研修等受講できやすい体制を考えていきます。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	障害のない子ども達との直接的な交流はありませんが、近隣の児童館を年数回利用し場を共にする機会を設けています。イベント等へ参加等、交流機会が持てるように努めていきます。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	検討していきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳に利用時の様子記入、お送り時の報告、電話相談、モニタリング等、その中で共通理解できるように努めていきます。
保護者への説明責任等	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	保護者からの相談や利用児の支援の中での課題を通じて、保護者の気持ちを受け止め、モニタリングや保護者会の中で寄り添う助言等を更に行っていきます。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時や保護者会の中で、皆さんに理解いただけるよう、より丁寧な説明をするように努めていきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	常に保護者の相談には即応し、保護者の気持ちを汲み取り一人一人に応じたよりよい助言と支援に努めていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	より多くの方に参加いただけるように、年度毎に保護者会の開催曜日や回数を検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	利用児や保護者からの苦情に適切に対応できるように苦情体制を整えています。契約時や更新時に丁寧に説明し伝えるように努めて行きます。また、毎月発行している会報の年度当初版に前年度の苦情結果を掲載しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	HPや毎月発行している会報に活動や行事の様子、その月の予定等掲載しています。また、利用希望表にも活動内容等掲載しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○	HPや毎月発行している会報への氏名・画像の掲載、メールの誤発信等ないよう細心の注意を払っていきます。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	利用児や保護者との意思の疎通や情報伝達がスムーズに図れるよう分かりやすい方法で、丁寧に対応していきます。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今後、そのような機会を設け、地域の方に理解し受入れていただけるよう努めていきます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	保護者には契約時や保護者会、職員には職員会議や研修の中で、各マニュアルの説明を更に丁寧に行っていきます。
非常時等の対応	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	月1回職員による火災訓練を実施しており、内2回は利用児を含めた避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	所内研修の中で年1回虐待防止マニュアル・身体拘束予防マニュアルを活用した研修を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体拘束予防マニュアルの理解を徹底し、全職員で身体拘束のない支援を考え行っています。また、対象利用児がいる際は、保護者の同意のもと個別支援計画に盛り込んでいきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	対象利用児がいる場合は、医師の指示に従って対応します。また、病院での定期受診後、保護者から医師の指示や対応等の情報収集し、事故に至らないようにします。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ケガや事故が発生した際は、日誌に記録して全職員で原因の究明、改善策の検討、共有と、事故の軽減と防止に努めています。今後は事例集として作成し、更に事故防止に対する意識を高めていきます。